

平成30年度
事業報告

平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

公益財団法人 秋田県国際交流協会

主な事業の実績

I 多文化共生社会の推進

1 外国籍県民のサポート

協会内に設置している「外国人相談センター」では、在住外国人等の総合相談窓口として、日常生活相談のほか出入国やDVに関すること等の専門相談を受け付けし、在住外国人の支援を行った。

また、地域外国人相談員や関係機関と連携し、外国人が暮らしやすい地域づくりに向けてネットワークの構築を図った。

(1) 相談対応

「母語で相談できる」という安心を保障し、個別のニーズに応じた細かな情報提供と、相談者自身の自己決定を前提にした適切な選択肢を提示した。

対応言語	受付時間
日本語、タガログ語	月～金 9:00～17:45
中国語、英語、韓国語	木曜日 13:00～15:00

※タガログ語は事前予約制

※受付日以外でも、相談があれば随時対応した。

【相談受付件数】 391 件

(2) 地域外国人相談員配置事業（受託）

県が委嘱している地域外国人相談員と連携して相談体制の充実と強化を図り、外国人が暮らしやすい地域づくりを推進した。また、地域外国人相談員間で情報を共有するため連絡会議を開催するとともに、他県の相談体制の状況把握や広域連携を図るため、山形県国際交流協会主催の「相談員研修会」へ職員1名が参加したほか、地域外国人相談員の育成のため、文化庁主催の「地域日本語教育コーディネーター研修」へ男鹿市日本語教室の担当者を派遣した。

【活動件数】 338 件

① 連絡会議（年3回実施）

【開催日時】 第1回：平成30年 7月11日（水）13:30～16:00

第2回：平成30年 11月22日（木）13:30～16:00

第3回：平成31年 3月25日（月）11:00～15:00

② 平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

地域日本語教育コーディネーター研修（文化庁主催）

【研修期間】 平成30年 8月30日（木）9:30～17:00

平成30年 8月31日（金）10:00～17:00

平成30年 11月29日（木）10:00～17:00

平成31年 2月28日（木）10:30～17:00

【研修地】 文部科学省

(3) 生活情報誌「えいあいえい!!!」の発行

ドメスティック・バイオレンス (DV) とは何か？
在住外国人がもし DV を受けたらどうしたらいい
のか？についてやさしい日本語にし、併せて中国
語、英語、韓国語、タガログ語に翻訳して発行し
た。



【発行部数】1,900部（中国語／600部、英語
／500部、韓国語／400部、タガログ語／400部）

【メール配信数】220通

【発行回数】1回（11月）

【内 容】11月号：「ドメスティック・バイオレンス (DV)」について

【配 布 先】日本語教室、行政及び教育機関、ネットワーク団体、民間集
客施設、賛助会員等

(4) 災害時の外国人支援

大規模災害発生時における多言語での外国人支援に関して、秋田県と「災害
多言語支援センター」設置に係る協定を平成28年5月10日に締結した。

年度初めに市町村・消防本部防災担当課長会議に参加し「やさしい日本語」
の活用についての理解と協力を依頼した。

「災害多言語支援センター」の周知及びセンターの運営整備のために、各市
町村の災害担当者向けに毎月メールマガジンを配信し、災害時の外国人支援に
関する情報を提供した。さらに、5月の大雨の際はフェイスブックにやさしい
日本語・英語・中国語・韓国語で注意を呼びかける掲載をし、在住外国人にも
情報が届くよう配慮した。

また、立場を越えた組織の連携・協働を実現するために、秋田県警、秋田大
学と顔の見える関係を築くとともに、秋田県社会福祉協議会の研修会や、日赤
防災キャンプに参加した。

2 国際理解の促進・人材育成

(1) AIA サポーターバンクの運営、ボランティアの確保

① AIA コミュニティサポーターの周知と利用促進

通訳・翻訳による在住外国人のサポート（災害時含む）や、外国の文化を日本
語で紹介できる人材を登録し、要請に応じて派遣した。



マレーシアの伝統食を紹介



コロンビアの民族衣装紹介

A I Aコミュニティサポーター登録者数	117名
通訳・翻訳登録言語	英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、インドネシア語、ロシア語、台湾語
文化紹介対象国	中国、韓国、フィリピン、インドネシア、コロンビア、タイ、ニュージーランド、ブラジル、ベトナム、ロシア、マレーシア
通訳・翻訳依頼件数	44件
通訳・翻訳派遣人数	68名（延べ）
文化紹介依頼件数	13件
文化紹介派遣人数	35名（延べ）

② おはなし、イベントボランティア

日本語を上達したい外国出身者の日本語学習のサポートをするお話しボランティア及び協会事業をサポートするイベントボランティアの募集、登録を行い、活動を希望する依頼者に紹介した。

【登録者数】おはなしボランティア 79名、イベントボランティア 52名

【組合せ数】28組

(2) あきたのファミリー事業

県内で学ぶ留学生と交流するホストファミリーを募り、留学生に地域の一般家庭と交流する機会を提供し、日本や秋田の習慣、文化について理解を深めてもらった。一方、ホストファミリーにおいては、受け入れた留学生の母国のことを知る機会となり、相互理解の促進に寄与した。また、参加者同士の交流を目的として交流会を開催した。

【募集時期】 通年

【ファミリー登録数】 67 家族

【組合せ数】 42 組

(3) 人材育成等

① AIA コミュニティサポーターを対象とした研修の実施

各サポーター、ボランティアの活動に役立つ研修会を開催した。

AIA コミュニティサポーター 研修会	目的	現代日本の外国人が抱える問題を理解し、コミュニティ通訳の活動領域、そして通訳が果たすべき役割と守るべき倫理を学ぶ。通訳技法をもとに演習を行い、通訳業務における意識改善を行う。
	開催日	平成30年11月17日（土）13：00-15：30
	会場	アトリオン7階 ぐらしの研修室
	講師	内藤 稔氏 (東京外国語大学 大学院総合国際学研究院) 
	研修内容	○講話：『コミュニティ通訳が果たす役割と守るべき倫理』 ○事例検討：どこからどこまでが守秘義務か、通訳場面でのコミュニケーションで気をつけること ○通訳スキル練習：メモの取り方、要点をまとめる練習 言語別に分かれ通訳実習を行う
参加者数	35名	
翻訳 研修	目的	翻訳技術の向上
	研修期間	平成31年2月8日（金）～ 2月22日（金）
	対象言語	英語、中国語、韓国語、スペイン語、
	研修内容	翻訳課題の通信添削 課題①介護保険について 課題②「秋田犬に会いに行こう」
	参加者数	26名

② 日本語学習支援

県内各地の日本語教室を訪問することで、開催状況及び抱えている問題の把握や地域で活躍できる人材発掘に努めた。

また、県内各地域の日本語教室の指導者及び小中学校の日本語指導支援サ

ポーター等を対象に、県内 3 か所で研修を開催し、日本語指導者の育成とスキルアップを図った。

日本語指導者研修①	開催日	平成30年6月23日（土）13：30～16：30	
	会場	大曲中央公民館 大研修室	
	講師	荒川洋平氏（東京外国語大学教授）	
	研修内容	日本語教師を目指す人のための理論・知識・授業 日本語教育の知識を体系的に学びました。	
参加者数	37名		
日本語指導者研修②	開催日	平成30年7月7日（土）13：00～16：30	
	会場	秋田市 アトリオン7階 ぐらしの研修室	
	講師	平田未季氏（秋田大学助教）	
	研修内容	学習者がつまづきやすい「助詞」の教え方 「を、で、に、へ、と」などの助詞を分かりやすく教える方法を学びました。	
参加者数	35名		
日本語指導者研修③	開催日	平成30年7月21日（土）13：00～16：30	
	会場	北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」 大研修室	
	講師	新野佳子氏（国際日本語普及協会 日本語教師）	
	研修内容	働く現場や生活で役立つ日本語習得のための指導法 様々な場面を利用した実践的な指導法を学びました。	
参加者数	31名		

（4）異文化理解講座等の実施

県民の国際理解・異文化理解を深めるために、日本及び外国の特徴的な行事等をテーマに、その成り立ちや意義について紹介したり、体験したりする講座や交流会を実施した。

冬	開催日	平成30年12月15日（土）
---	-----	----------------

会 場	アトリオン7階 暮らしの研修室
対 象	在住外国人及び国際交流に関心のある方
内 容	<p>○国際交流員による 韓国・アメリカの 伝統料理の紹介</p> <p>○やさしい日本語体験</p> <p>○世界の料理の紹介</p>
参加者数	33名



(5) A I A 訪問受入事業

職場訪問やインターンシップを希望する者を受け入れ、国際協力、多文化共生に対する理解を深めてもらうとともに、協会の事業内容の周知を図った。

【内 容】職場訪問及びインターンシップの受け入れ要請に応じて随時対応した。

【受入件数】職場訪問 5 件、インターンシップ 6 件

【受入者数】職場訪問 27 名、インターンシップ 13 名

II 民間団体等の活動の活性化

1 民間団体の育成・支援

(1) あきた国際活動民間団体ネットワークの推進

県内で国際交流や国際協力、多文化共生等の活動を行う団体に対し、「あきた国際活動民間団体ネットワーク」（以下「あきたエアネット」という。）への登録を促した。

ネットワーク団体から年に1回、活動報告書を提出してもらいその活動を把握した。

また、団体の連絡先や活動内容等をホームページ上で公開し、いつでも連携がとれる体制を整えるとともに、広く県民に団体とその活動内容を紹介するよう努めた。

【登録団体数】96 団体

(2) 助成事業

① あきた国際活動助成金

県内で国際交流、国際理解、国際協力等多文化共生を進める民間の団体を対象に、その活動に助成し、秋田県における国際化の一層の進展を図った。

【交付団体数】10 団体

【助成金限度額】8万円／団体

【助成金総交付額】720,000円

② 海外移住者支援事業

南米移住者秋田県人会の活動を支援するため、県からの補助金により県人会の活動費を一部助成した。

【対象県人会】	国名	名称
	ブラジル	ブラジル秋田県人会 アマゾン地域秋田県人会
	アルゼンチン	在亜秋田千秋会
	パラグアイ	ピラポ秋田県人会 アマンバイ秋田県人会

【交付額】合計1,900,000円

2 活動機会の提供

(1) あきた国際フェスティバル2018

県民の誰もが気軽に参加できるフェスティバルをイオンモール秋田で開催した。

県内の国際交流団体の活動紹介や在住外国人による母国紹介などを通じて、多くの県民が異文化に触れることができた。

(共催：独立行政法人国際協力機構（JICA）東北支部)

あきた 国際 フェス ティバ ル	開催日	平成30年9月30日（日）
	会場	イオンモール秋田 セントラルコート
	内容	○ステージパフォーマンス (バグパイプ演奏、アフリカ演芸とエンビラの演奏、コロンビアの伝統舞踊とサルサ、インドネシア伝統舞踊、タイ民族舞踊、ベトナム民族舞踊、カポラーレス等) ○世界の文化紹介 ○国際交流団体の活動紹介 ○JICA活動紹介 ○クイズラリー
	ブース数	28ブース（国内外の国際交流・国際協力団体等）
	来場者数	7,609人



Ⅲ 国際交流の情報や機会の提供

1 国際交流情報の提供

(1) ホームページ、Facebook による情報発信・共有

ホームページや Facebook を活用し、迅速な情報発信に努めるとともに、多言語（中国語、韓国語、英語）対応により利用者の利便性向上を図った。

また、あきたエアネット加入団体が主催するイベント情報等を掲載し、県民に国際交流、多文化共生に関する情報を広く提供した。

(2) 異文化交流スペースの運営管理

民族衣装や国旗、ユニセフライブラリー貸出の他、外国の文化を紹介する企画展示などを行った。

また、幼児を対象とした英語の絵本の読み聞かせなど、国際交流に関心のある県民が参加できるイベントを開催した。

2 海外諸国との友好交流

(1) ロシア青少年交流（派遣）事業（受託）

県民の国際理解と青少年の国際感覚の醸成を図るため、本県と友好協定を締結しているロシア沿海地方へ、県立能代松陽高等学校の生徒 6 名を派遣した。

生徒は、ウラジオストク市内の高校生との交流を中心に、地域文化を理解するための文化施設の見学のほか、ホームステイを通して現地住民との交流も行った交流団は、ロシア語クラスを設けている県立能代松陽高等学校の生徒との交流を中心に、日本文化を理解するための施設見学のほか、ホームステイ等を通して県民との交流も行った。

【派遣期間】 平成 30 年 9 月 15 日（土）～9 月 22 日（土）

【派遣人数】 生徒 6 名/引率者 1 名

【交流内容】○互いの国の文化紹介をはじめとした現地学生との交流

○ウラジオストク市内の文化施設等の視察

○ホームステイ



(2) 天津市青少年交流（派遣）事業（受託）

秋田県知事と天津市長間で締結した「友好協定締結に向けた協議書」に基づき、県立秋田大曲農業高等学校の生徒 9 名を中国天津市へ派遣した。

交流団は天津市内等の視察や天津市の生徒との交流を通じて、言語や文化

の違いを体験し、中国への理解を深めた。

【派遣期間】平成30年12月23日（日）～12月28日（金）

【派遣人数】生徒9名/教員2名

【交流内容】○キャンパスや授業の見学、体験
○互いの国の文化紹介をはじめとした
現地学生との交流
○視察（天津楊柳青年画博物館、五
大道、故宮等）



（3）甘肅省技術研修員受入事業（受託）

本県と友好関係にある中国甘肅省から研修員を受け入れ、日本語及び日本文化について研修を行うとともに、一般県民との交流を通じて国際理解を促進した。

【受入期間】4ヶ月（9月～12月）

【受入人数】1名

【出身国】中国

【研修内容】日本語及び日本文化

【主な研修先】秋田大学、秋田県国際交流協会



（4）南米ネットワーク構築事業（受託）

在南米秋田県人会の次代を担う秋田と南米の架け橋として活動する人材の育成を目的に、南米からの研修員を受け入れ、日本語及び日本文化について研修を行うとともに、一般県民との交流を通じて国際理解を促進した。

【受入期間】4ヶ月（9月～12月）

【受入人数】3名

【出身国】ブラジル、アルゼンチン

【研修内容】日本語及び日本文化

【主な研修先】秋田大学、秋田県国際交流協会



（5）ロシア専門家受入事業（受託）

秋田県脳血管研究センターに入院していた患者の手術、病気や治療方法を見学し、週3回メディカルカンファレンスに出席した。

新設された心臓外科を見学した後、新手術室に整備されている顕微鏡などの装置説明会に出席した。

【受入先】秋田県立脳血管研究センター

賛助会員に関する事項

(人・団体)

	平成30年 3月末	入会	退 会		平成31年 3月末	増減
			退会届	会費未納等		
個人会員	13	3			16	3
団体会員	32	6		1	37	5
合 計	45	9		1	53	8

理事会・評議員会の開催状況

理事会及び評議員会の開催状況は次のとおりである。

1 理事会

(1) 第1回理事会

ア) 開催年月日

平成30年5月21日(月)

イ) 決議事項

- ①平成29年度事業報告の承認
- ②平成29年度計算書類等の承認
- ③臨時評議員会の招集
- ④定時評議員会の招集

ウ) 報告事項

- ①理事長等の職務の執行状況

エ) 出席状況

理事7名中5名出席、監事2名中1名出席

(2) 第2回理事会

ア) 開催年月日

平成31年3月8日(金)

イ) 決議事項

- ①秋田県国際交流協会活動プラン(素案)の承認
- ②2019年度事業計画案の承認
- ③2019年度収支予算案の承認
- ④資金調達及び設備投資見込みの承認

ウ) 報告事項

- ①寄付の受納
- ②理事長等の職務の執行状況

③会計監査及び立ち入り検査の結果

エ) 出席状況

理事 7 名中 5 名出席、監事 2 名中 1 名出席

2 評議員会

(1) 第 1 回評議員会 (書面開催)

ア) 開催年月日

平成 3 0 年 5 月 2 9 日 (火)

イ) 同意事項

①理事の選任

②評議員の選任

ウ) 確認状況

評議員 6 名中 6 名同意

(2) 定時評議員会

ア) 開催年月日

平成 3 0 年 6 月 6 日 (水)

イ) 決議事項

①平成 2 9 年度計算書類等の承認

ウ) 報告事項

①平成 2 9 年度事業報告

②平成 3 0 年度事業計画及び収支予算

エ) 出席状況

評議員 7 名中 5 名出席 (理事 7 名中 1 名出席)